



平成 28 年 1 月 13 日

各 位

会社名 イワキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩城 修
(コード番号 8095 東証第一部)
問合せ先 取締役経理財務部長 熱海正昭
(TEL. 03-3279-0481)

(訂正)「平成 25 年 11 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 4 月 10 日に開示いたしました表記開示資料について、一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 28 年 1 月 13 日付「過年度の決算短信等の訂正並びに有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



平成25年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月10日

上場会社名 イワキ株式会社 上場取引所 東
コード番号 8095 URL <http://www.iwaki-kk.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩城 修
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 熱海 正昭 TEL 03-3279-0481
四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日
配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第1四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	11,918	△3.4	26	△87.0	81	△67.5	18	△82.6
24年11月期第1四半期	12,337	△6.0	203	△47.5	250	△41.8	104	△52.9

(注) 包括利益 25年11月期第1四半期 231百万円(23.2%) 24年11月期第1四半期 188百万円(△88.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第1四半期	<u>0.54</u>	-
24年11月期第1四半期	<u>3.08</u>	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年11月期第1四半期	<u>34,580</u>	<u>15,902</u>	<u>46.0</u>	<u>470.69</u>
24年11月期	<u>35,185</u>	<u>15,771</u>	<u>44.8</u>	<u>466.83</u>

(参考) 自己資本 25年11月期第1四半期 15,902百万円 24年11月期 15,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	-	3.00	-	3.00	6.00
25年11月期	-				
25年11月期(予想)		3.00	-	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,100	1.3	330	△47.7	370	△45.7	230	△32.5	6.81
通期	53,200	2.4	900	△20.1	980	△24.2	600	△17.6	17.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。
詳細につきましては、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照いたします。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年11月期1Q	34,147,737株	24年11月期	34,147,737株
② 期末自己株式数	25年11月期1Q	362,966株	24年11月期	362,348株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年11月期1Q	33,785,063株	24年11月期1Q	33,790,015株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年12月1日～平成25年2月28日）におけるわが国経済は、政権交代による経済・金融政策への期待感、米国経済の回復傾向などにより円安・株高基調に転じ、製造業を中心とした輸出関連産業の業績回復の兆しが見られました。しかしながら、実体経済は未だ回復途上にあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、事業基盤・事業規模の強化、拡大および収益構造改善を基本戦略としたグループ中期経営計画に基づき、海外サプライヤーとの連携強化や自社企画による商品の開発など、多様化・高度化するお客様のニーズへの対応力強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は119億1千8百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は2千6百万円（同87.0%減）、経常利益は8千1百万円（同67.5%減）、四半期純利益は1千8百万円（同82.6%減）となりました。

次にセグメントの概況につきご報告申し上げます。

【医薬品事業】

医療用医薬品は、昨年4月の薬価改定による影響を受けながらも、「一般名処方加算」などの『後発医薬品使用促進策』によるジェネリック医薬品市場が拡大するなか、医療機関および調剤薬局などへの積極的な情報提供活動が功を奏し、主力の外皮用剤や緩下剤は堅調に推移いたしました。また、受託品は大幅に伸長いたしました。

一般用医薬品は、新規商品の取扱い拡大に努めてまいりましたが、主力販売先における取引卸集約の影響を受け、低調に推移いたしました。一方、ビタミンC末や提携品は堅調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は40億2千1百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は1千4百万円（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

【医薬品原料・化粧品原料事業】

医療用医薬品原料は、主力の解熱鎮痛剤が主要顧客への販売減少に伴い、低調に推移いたしました。また、自社の販売が苦戦を強いられたため、営業利益は減少いたしました。一方、ジェネリック医薬品原料は、抗アレルギー剤は伸長し、その他の製品の販売が減少いたしました。全体としては堅調に推移いたしました。

一般用医薬品原料は、積極的な営業活動を展開した結果、風邪関連原料が順調に推移いたしました。また、主力の鼻炎用血管収縮剤原料も堅調に推移いたしました。

化粧品原料は、新規取引先や取扱商品・受託加工品の拡大に向けた提案活動に注力した結果、堅調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は34億4千7百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は1億9千5百万円（同11.9%減）となりました。

【化成品事業】

表面処理薬品は、車載部品向け薬品が堅調に推移したものの、プリント配線板・電子部品関連薬品は前年に比べて低調に推移し、また前年好調であったスマートフォン向けが大幅に落ち込み、全体としては低調に推移いたしました。化学品原料は、特殊溶剤や汎用溶剤が堅調に推移したものの、表面処理薬品原料は低調に推移いたしました。また、医薬中間体および特殊薬品も低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は17億3千4百万円（同22.3%減）、営業損失は9千5百万円（前年同期は2千7百万円の営業利益）となりました。

【食品原料・機能性食品事業】

食品原料は、関連会社製品、天然調味料・農産加工品領域を中心に販売に注力いたしました。その結果、関連会社製品では健康食品関連の受託が、粗原料不足の影響により低調に推移いたしました。また、天然調味料・農産加工品・その他取扱い原料につきましても、加工食品メーカーからの受注が低調に推移し前年を下回りました。

サプリメント原料は、安心・安全な原料の提案活動を中心に、通信販売会社をはじめ製造受託会社などへの提案を行った結果、エイジングケア原料などの新規採用と美容原料が好調に推移いたしました。一方、自社原料は、新規採用および販売拡大に注力いたしました。また、低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は18億1千9百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は9千2百万円（同15.8%減）となりました。

【その他の事業】

当事業全体の売上高は8億9千5百万円（同5.0%増）、営業損失は3千7百万円（前年同期は5百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産345億8千万円（前連結会計年度末比6億4百万円減）、負債合計186億7千8百万円（同7億3千4百万円減）、純資産は159億2百万円（同1億3千万円増）となりました。

総資産の減少の主な理由は、現金及び預金の減少7億3千6百万円、受取手形及び売掛金の減少9億1千4百万円、商品及び製品の増加2億8千5百万円、仕掛品の増加1億5千万円、原材料及び貯蔵品の増加9千9百万円、投資有価証券の増加4億5千5百万円によるものです。負債合計の減少の主な理由は、支払手形及び買掛金の減少4億8千9百万円、電子記録債務の減少1億2千2百万円、短期借入金の増加2億円、未払費用の減少5億2百万円、未払法人税等の減少1億5百万円、その他の流動負債の増加2億5千2百万円によるものです。純資産の増加の主な理由は、利益剰余金の減少8千3百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億8千2百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の業績予想につきましては、平成25年1月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
（減価償却方法の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,327,091	3,590,997
受取手形及び売掛金	13,956,067	13,041,429
電子記録債権	294,086	354,932
商品及び製品	3,052,608	3,337,784
仕掛品	740,538	890,917
原材料及び貯蔵品	592,081	692,061
その他	764,744	774,059
貸倒引当金	△55,088	△47,037
流動資産合計	<u>23,672,129</u>	<u>22,635,143</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,049,019	8,056,662
減価償却累計額	△5,283,668	△5,330,489
建物及び構築物(純額)	<u>2,765,350</u>	<u>2,726,173</u>
機械装置及び運搬具	7,200,654	7,175,990
減価償却累計額	△6,603,869	△6,601,095
機械装置及び運搬具(純額)	<u>596,784</u>	<u>574,894</u>
土地	3,419,539	3,419,539
その他	2,424,819	2,425,852
減価償却累計額	△1,727,030	△1,767,743
その他(純額)	<u>697,789</u>	<u>658,109</u>
有形固定資産合計	<u>7,479,464</u>	<u>7,378,716</u>
無形固定資産	340,781	401,397
投資その他の資産		
投資有価証券	2,530,847	2,986,745
その他	<u>1,391,263</u>	<u>1,409,364</u>
貸倒引当金	<u>△229,468</u>	<u>△230,872</u>
投資その他の資産合計	<u>3,692,642</u>	<u>4,165,237</u>
固定資産合計	<u>11,512,887</u>	<u>11,945,351</u>
資産合計	<u>35,185,016</u>	<u>34,580,494</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,118,349	8,629,218
電子記録債務	2,295,705	2,172,824
短期借入金	2,362,000	2,562,000
未払費用	1,172,816	670,473
未払法人税等	239,271	133,912
その他	538,305	790,585
流動負債合計	<u>15,726,447</u>	<u>14,959,014</u>
固定負債		
長期借入金	1,315,500	1,275,000
退職給付引当金	1,603,564	1,613,790
その他	767,543	830,586
固定負債合計	<u>3,686,607</u>	<u>3,719,376</u>
負債合計	<u>19,413,055</u>	<u>18,678,390</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,382	2,572,382
資本剰余金	4,206,965	4,206,965
利益剰余金	<u>8,815,926</u>	<u>8,732,684</u>
自己株式	<u>△81,048</u>	<u>△81,160</u>
株主資本合計	<u>15,514,225</u>	<u>15,430,872</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	308,644	491,268
繰延ヘッジ損益	7,051	12,198
為替換算調整勘定	<u>△57,960</u>	<u>△32,234</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>257,735</u>	<u>471,232</u>
純資産合計	<u>15,771,961</u>	<u>15,902,104</u>
負債純資産合計	<u>35,185,016</u>	<u>34,580,494</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
売上高	12,337,259	11,918,182
売上原価	9,739,431	9,406,733
売上総利益	2,597,827	2,511,448
販売費及び一般管理費	2,394,569	2,485,031
営業利益	203,258	26,416
営業外収益		
受取利息	1,011	1,406
受取配当金	12,221	13,324
受取賃貸料	19,594	17,049
受託研究収入	30,107	38,076
その他	28,719	23,481
営業外収益合計	91,653	93,336
営業外費用		
支払利息	14,894	13,170
持分法による投資損失	7,577	5,498
賃借料	8,760	10,950
その他	12,929	8,751
営業外費用合計	44,162	38,369
経常利益	250,749	81,382
特別利益		
固定資産売却益	86,330	—
特別利益合計	86,330	—
特別損失		
固定資産売却損	2,555	—
固定資産処分損	3,022	2,521
ゴルフ会員権評価損	3,260	—
特別損失合計	8,837	2,521
税金等調整前四半期純利益	328,241	78,861
法人税、住民税及び事業税	151,029	132,545
法人税等調整額	73,107	△71,806
法人税等合計	224,137	60,738
少数株主損益調整前四半期純利益	104,104	18,122
四半期純利益	104,104	18,122

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>104,104</u>	<u>18,122</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71,997	182,292
繰延ヘッジ損益	4,532	5,147
為替換算調整勘定	8,627	25,725
持分法適用会社に対する持分相当額	<u>△1,200</u>	<u>331</u>
その他の包括利益合計	<u>83,957</u>	<u>213,496</u>
四半期包括利益	<u>188,061</u>	<u>231,618</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>188,061</u>	<u>231,618</u>

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年12月1日 至平成24年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品	医薬品原 料・化粧品 原料	化成品	食品原料・ 機能性食品	計				
売上高									
(1)外部顧客へ の売上高	3,980,723	3,249,688	2,233,102	2,021,587	11,485,101	852,157	12,337,259	—	12,337,259
(2)セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	9	94,357	—	—	94,366	2,617	96,984	△96,984	—
計	3,980,732	3,344,045	2,233,102	2,021,587	11,579,467	854,775	12,434,243	△96,984	12,337,259
セグメント利益 又は損失(△)	△1,045	222,233	27,446	110,100	358,735	△5,029	353,706	△150,447	203,258

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△150,447千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△149,162千円および棚卸資産の調整額△1,285千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年12月1日 至平成25年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品	医薬品原 料・香粧品 原料	化成品	食品原料・ 機能的食品	計				
売上高									
(1)外部顧客へ の売上高	4,021,800	3,447,775	1,734,302	1,819,147	11,023,026	895,155	11,918,182	—	11,918,182
(2)セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	19	103,596	—	—	103,615	2,754	106,369	△106,369	—
計	4,021,820	3,551,372	1,734,302	1,819,147	11,126,642	897,909	12,024,551	△106,369	11,918,182
セグメント利益 又は損失(△)	14,790	195,862	△95,748	92,653	207,557	△37,561	169,996	△143,580	26,416

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△143,580千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△140,162千円および棚卸資産の調整額△3,417千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。